

経団連への入会と SDGs 達成に向けた取り組み

このほど、一般社団法人日本経済団体連合会様より今までの企業活動内容を評価していただき、サッポロホールディングス株式会社様と株式会社群馬銀行様のご推薦を賜り、2018年12月14日に正式に入会させていただきました。

ハルナグループは、皆様の暮らしや社会全体を最適化した未来社会の実現を目指す経団連の企業行動憲章に賛同し、Society 5.0の実現を通じたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、取り組みを行ってまいります。

経団連の概要

名称	一般社団法人 日本経済団体連合会（略称：経団連） Japan Business Federation	
目的（定款第3条）	総合経済団体として、企業と企業を支える個人や地域の活力を引き出し、我が国経済の自律的な発展と国民生活の向上に寄与すること	
設立日	1946（昭和21）年8月16日	
代表理事	会長 中西 宏明 氏	事務総長 久保田 政一 氏

一般社団法人日本経済団体連合会（Japan Business Federation）は、日本の大手企業を中心に構成される団体。「財界総本山」とも称され、日本商工会議所、経済同友会と並ぶ「経済三団体」の一つで、三団体の中でもその影響力は際立って大きい。その使命は、総合経済団体として、企業と企業を支える個人や地域の活力を引き出し、日本経済の自律的な発展と国民生活の向上に寄与することにあります。このために、経済界が直面する内外の広範な重要課題について、経済界の意見を取りまとめ、着実かつ迅速な実現を働きかけています。同時に、政治、行政、労働組合、市民を含む幅広い関係者との対話を進めています。各国の政府・経済団体ならびに国際機関との対話を通じて、国際的な問題の解決と諸外国との経済関係の緊密化を図っています。

2018年12月新規会員

アマゾン ジャパン合同会社

代表者： 社長 ジャスパー チャン
所在地： 東京都目黒区
事業内容： インターネット等を利用した電子商取引事業

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

代表者： 社長 長崎 忠雄
所在地： 東京都品川区
事業内容： コンピュータサービス事業

ターキッシュ エアラインズ

代表者： 東京支社長 メフメット アカイ
所在地： 東京都港区
事業内容： 航空運送事業

ハルナビレッジ株式会社

代表者： 社長 青木 麻生
所在地： 東京都中央区
事業内容： 清涼飲料、天然水など各種飲料製品の製造販売等

株式会社メルカリ

代表者： 社長 小泉 文明
所在地： 東京都港区
事業内容： リユース品を中心とした電子商取引事業等



サステナブル経営とSDGs

～Haruna Shared Value の取り組み～

私どもは創業以来、基本的使命のひとつとして「人と地球環境と地域社会の健康のために」を掲げ、環境整備活動や環境会計を導入してCO2の削減やリサイクル化の向上、教育や福祉を通じた社会貢献活動など様々な活動を行ってまいりました。

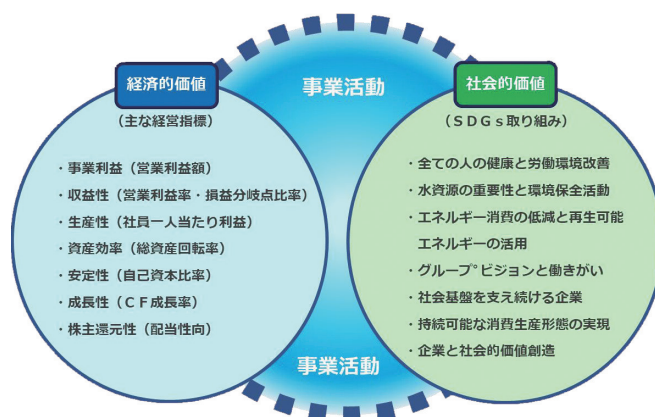
このたび「一般社団法人 日本経済団体連合会」（以下、経団連）に入会させていただいたことを契機に、皆様の暮らしや社会全体を最適化した未来社会の実現を目指した経団連の企業行動憲章に賛同し、Society 5.0の実現を通じたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを行わせていただくため、2019年4月に「ハルナグループSDGs行動宣言」としてまとめ、主に7つの取り組みを通じて実現を目指させていただくことになりました。



経済・社会および環境面での課題に対処するためのSDGsが目指す目標は、当社の企業理念そのものでありビジョンの土台となるものと考えております。

私どもはESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した経営の推進と社会的責任への取り組みを進めるため、一体化した目標を設定し「Haruna Shared Value」として価値創造の循環へとつなげ、ハルナグループの事業活動を通じて経済的価値と社会的価値を同時に実現させ、皆様に信頼され続ける企業グループを目指してまいります。

HARUNA Shared Value



～今後の取り組み～

SDGsが目指す目標は、当社の企業理念そのものであり、ESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した経営の推進と社会的責任への取り組みを進めるため、「ハルナSDGs推進委員会」を発足させ、「重要課題」を定め、事業活動を通じて社会的課題解決に持続的に貢献できるよう社員全員で取り組んでまいります。

■主な重要課題

まず、考えられる主な課題は下記のとおりです。

3 すべての人に健康と福祉を 	飲料を通じ、消費者の皆様の健康的なライフスタイルの促進とバリューチェーン全体での労働環境の改善を目指して	6 安全な水とトイレを世界中に 	製造で使用する水の削減・リサイクルを徹底し、共有財産である「水」資源の無駄を低減するとともに環境保全活動を推進
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	エネルギー消費を低減し、エネルギー効率を改善するとともに、再生可能エネルギー源に由来するエネルギーの活用を目指して	8 働きがいも経済成長も 	ワーク・ライフ・バランス（WLB）を推進するとともに、個人目標とグループビジョンを同時に実現できる体制を構築し、全ての社員が働きがいを感じられる企業グループへ
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	総合飲料プロデューサーとしてのプラットフォームを構築し、食品・飲料市場の活性化と安定化を図り、社会基盤を支え続ける	12 つくる責任 つかう責任 	生産とサプライチェーンにおいて発生する破棄物の低減とリサイクル化を促進するとともに、持続可能な消費の重要性についての理解を深め、持続可能な消費生産形態の実現を目指して
17 パートナースhipで目標を達成しよう 	全てのステークホルダーと協働し、企業と社会的価値創造の結び付けの強化を目指して	 ハルナビバレッジ株式会社 専務取締役 栗原 健一	

ステークホルダーのご意見

貴社とは、2002年の工場用地を取得する際に、お取引をいただいて以来、永きにわたりご愛顧を賜り、心から御礼申し上げます。

私が2011年に高崎支店支店長に就任し、はじめて現名誉会長である青木清志様にお会いした時、飲料事業を通じてお客様やお取引先、地域社会とともに持続可能な成長を続けることを、創業時からの経営の根幹としていとお聞きしました。思い起こせば創業時からまさに、国連が提唱する「SDGs(Sustainable Development Goals)」に通ずる経営理念を、先駆けてお持ちであったということです。

また、貴社は「環境」を経営上の重要なテーマの一つとして環境経営の活動に積極的に取り組まれています。今年の4月には、SDGs活動の一環になるとのお考えから「東和SDGs私募債」を活用し、これに伴う寄付を「ぐんま緑の県民基金」にされました。ぐんま緑の県民基金は、豊かな水を育む森林を育成して後世に残していくもので、まさに水を材料にして飲料水を作る貴社の事業と繋がります。その活動の一助になれたことをとても光栄に思っております。

当行は、地域社会とともに持続可能な成長を目指す貴社の取り組みに対して、今後もお手伝いをさせていただければ幸いと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



株式会社東和銀行
取締役専務執行役員
江原 洋 様

～ご意見をいただいて～

この度はご寄稿ありがとうございました。今回のSDGs私募債を引き受けていただき、貴行とともに「ぐんま緑の県民基金」へ寄付をできたことについて改めて感謝申し上げます。貴行は「靴底を減らす活動」「雨でも傘をさし続ける銀行」「謙虚さのDNAを忘れない銀行」をモットーにした「TOWA お客様応援活動」をぶれることなく取り組んでおられ、貫くことの大切さを間近で感じさせていただいております。私も一貫した姿勢で事業活動を通じて経済的価値と社会的価値を同時に実現し、社会から皆様から信頼していただける存在であり続けられるよう努力してまいります。

ハルナビバレッジ株式会社
専務取締役
栗原 健一